

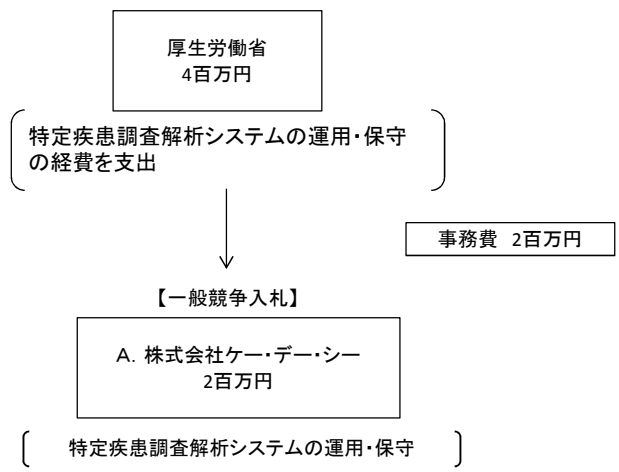
平成27年度行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	特定疾患調査解析システム開発等経費			担当部局庁	健康局	作成責任者		
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	疾病対策課	課長：田原 克志		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定疾患治療研究対象者の申請の際に提出される臨床調査個人票(診断書)のデータを利用し、研究班における研究の促進を図る。また、認定の際に特定疾患調査解析システムを参考に利用し、適正かつ全国統一的な判定、審査業務及び認定業務の省力化を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	都道府県の特定疾患対策協議会において、特定疾患調査解析システムを用いた特定疾患の一次判定を行うとともに、難治性疾患克服研究事業の臨床調査研究班に対し臨床データの提供を行う。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	4	4	4	3	0	
	執行額	3	4	4				
	執行率(%)	75%	100%	100%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 30年度
	前年度難治性疾患克服研究事業研究班からのデータ利用申請数	難治性疾患克服研究事業研究班からのデータ利用申請数	成果実績	件	19	18	7	
			目標値	件	25	19	18	前年度以上
			達成度	%	76%	94.7%	38.9%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	都道府県のシステム入力数	活動実績	件	625,769	431,565	集計中		
		当初見込み	件	810,653	855,061	855,061	855,061	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト = X / Y	単位当たりコスト	円/件	5	9	集計中	3	
	X:「執行額」 Y:「都道府県のシステム入力数」	計算式	X / Y	3 / 625,769	4 / 431,565	集計中	3 / 855,061	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	社会保障関係情報化業務庁費	3	0	事業の廃止による減				
	計	3	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	特定疾患治療研究事業受給者のデータを全国的に収集するためのシステムに係る経費であり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	全国にいる受給者のデータ収集のためのシステムであり、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	難病患者のデータ収集事業であり、難病研究の推進という目的達成に向けて、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札による業者選定をしている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	登録1件あたりの費用は低額に抑えられており、水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	システムの運用経費のみに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		△	平成26年度は、成果目標と成果実績で大きな乖離があったが、それ以前は概ね見合ったものとなっていたことから、引き続き同様の成果目標を設定していく。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△	全数入力が見込ましいが、入力率は50%程度である。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	収集したデータを研究班に提供している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	特定疾患調査解析システムにおいて収集したデータの研究利用申請は毎年一定程度あり、難病の研究推進にも活用されていることから、引き続き事業を継続していく必要がある。			
	改善の方向性	運用・保守経費については通減していることから、今後も引き続き事業を実施していく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
抜本的な改善	難病患者の新たなデータベースとの棲み分けを精査し、必要な予算額を確保すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
廃止	難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく医療費助成制度に対応した新たなシステムを構築することから、本システムは廃止する。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	168	平成23年度	145	平成24年度	117
平成25年度	134	平成26年度	145		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.株式会社ケー・デー・シー			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	運用・保守	特定疾患調査解析システムの運用・保守	2			
	計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ケー・デー・シー	特定疾患調査解析システムの運用・保守	22		74%